

2023. 2. 6

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 2023/2/13、2/20 9:00 ため池公園スタート
- 林の手入れ活動 2/12 10:00 大門観察台集合
- ニリンソウ月間2023 3/18(土)～4/16(日)
期間中の土・日 10:00～12:00 大門自生地でのニリンソウガイド
期間中の毎月曜日 9:00～12:00 春の野草観察会 モニタリングと同じ時間・場所
★どの活動も、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

#ウメは咲いたか？ サクラはまだかな～？#



左は溜池公園の紅梅、上は城址の白梅。

1月中は厳しい寒さが続き、しかも雨が降らないカラカラの気候だったので、春の歩みはちょっとだけ止まっています。ニリンソウの大群落がある大門地区には、毎年この頃には咲きだしてしまう「早咲きのニリンソウ」があるのですが、今年は少ないようです。右の写真は沖山地区の東端で昨年から咲いているニリンソウ。花茎は2輪目がまだ蕾のまま、開花の歩みはゆっくりです。



1月のモニタリング（植物の観察・記録活動）は1回しか行うことができず、レポートも発行できなかったのですが、活動は元気に続いています。



2月の初旬に観察された花と実



上の左から、**オオイヌノフグリ**、**ノゲシ**。いずれも、近年では1年中咲いている種になってきました。いちばん右は**オニノゲシ**(?)。針状にとがっている葉先を触ると痛みを感じます。最近「ノゲシとの交雑種」ではないかと思われる、葉先が柔らかいものがほとんどなのですが、城址ではもともとのオニノゲシではないかと思われるものが生きています。



←**オオハナワラビ**。シダ植物ですが、普通のシダは孢子が葉裏に出来るのに、これは孢子の柱が花のように伸びてくる珍しい種です。



ヤブツバキ。冬から初春にかけて殺風景な林を彩っている唯一の色気と言ってもよいでしょう→
下の写真は、左から**アオキ**の

実、色づき始めました。城址地区では初めて観察された白い実の**マンリョウ**。**カナメモチ**の実。元農家だった敷地に残る庭木です。



前ページの2種を含めて 30種でした。1/27の石神井川緑道で観察された花と実は全19種(うち、野草は10種)ありましたが、2/6の赤塚公園で観察されたのはそれより少なかったです。板橋区の西北に位置する赤塚公園の朝の気温は、南東に位置する石神井川緑道(観察ポイントは御成橋以南)よりも2℃ほど低く、その気温差が植物の動きに現れていると思われます。

タラノキの芽を摘むのはやめてください→

山野草の代表のような種ですが、新芽を摘み取ってしまうと、後から出てくる芽には花が咲かないので、種を増やすことができないのです。「大事にしてね」の札がかかっているにも関わらず摘み取っていく心ない人がいます。自分のことだけ考えないでください!

